

# せのう 孝夫 市政報告 No. 32



## 声を かたち に 夢を くらし に

4月21日執行の館山市議選におきましては、皆様より絶大なるご支援を賜りました。心から感謝申し上げますとともに、その御恩にお応えすべく、公約にも掲げました議会改革と行財政改革の推進、西岬地域の課題として県道フラワーラインの修復等に、全力で取り組んでまいります所存です。

### 3月議会通告質問【詳しくはホームページまたは議事録を参照】

#### 1. 葬儀後の申請書類の届け出をもっと便利に!!

死亡後、市役所に提出する届け出書類は状況によっても異なりますが、少なくとも5種類以上、多い場合は30種類以上にも及び、併せて申請者は窓口も複数箇所を回る場合もあり煩雑です。こういう状況を改善できないかと考え、申請窓口にて他の担当窓口で受け取る必要書類を指示しておくとか、利用者の窓口における利便性の向上について質問しました。

#### 質問の背景・所感

大分県別府市では、2016年5月に「おくやみコーナー」を設けました。お客様シートに死亡された方の氏名や生年月日等を書き込んでもらい、職員がデータを入力すると、関係書類が一括して作成されます。どの課でどんな手続きをするのかを記した一覧表を渡され、説明を受けます。各課にも、受け付け時点でお客様の情報が伝達されますので、必要書類等は用意して迎えられる。お客様の立場からは、それぞれの窓口での説明も極力少なくして済み、申請に要する時間も3割から5割短縮できたそうです。

別府市に倣い、2018年には三重松阪（まつさか）市、愛媛松山市、兵庫三田（さんだ）市、神奈川大和市等が、それぞれ取り組み始め、所謂「おくやみコーナー」を設けた自治体では、市民を想う知恵と工夫、熱意によって利便性の向上につながったと、感想を述べています。また、お金もかけませんので、最も身近な行政改革の代表的事例であると感じました。

本市では、事例等を参考にして、他の分野にも通ずるものとして検討すると答弁されました。

#### 2. 単体で開園している幼稚園等に防犯カメラの設置を要請!!

房南こども園のように、小学校などに隣接せず、単体で開園している幼稚園等については不審者への対応が職員だけでは無理があると思います。対策としては、人的な充実やフェンスなどの補強・整備等も考えられますが、実施には困難が予想されます。そこで、犯罪抑止効果が高いとされる防犯カメラの設置を提案しました。また、設置を一般にも周知することで、さらなる効果への期待と、こども自身の安全に加え、保護者・教職員への安心にもつながるものと考えます。

#### 速やかに設置が実現!!

防犯カメラは3月議会にて提案した案件でしたが、本年4月の入園時には設置されました。館山市の素早い誠意ある対応に、地域住民の一人として大変嬉しく、心から感謝しています。

### 3. 大人用おむつごみ処理対応について!!

国では、使用済み大人用紙おむつの新たな処理法の実用化を目指しています。国交省では、専用の装置で紙おむつと汚物を分け、し尿だけを下水に流すとか、破碎し、そのまま下水に流すなど3通りのタイプを示していますが、いずれも手間暇をかけずに処理することを目的としています。環境省では「紙おむつはリサイクルできる」という認識に立った施策として、リサイクルを自治体に促すガイドライン（手引き）の策定を進めており、来年度中に発表予定だということです。本市も、研究を開始して、速やかな対応ができるよう準備を進めていただきたいと思います。

#### 質問の背景・所感

環境省の調査では2015年度の大人用使用済み紙おむつは約220万トンで、一般廃棄物に占める割合は約5%にもなり、30年度には8%にまで増える予測を示しています。その処理については、介護現場においては重労働の一因にもなり、焼却施設では燃えにくいなど炉への負担も指摘されています。この様な状況に対応していくことは喫緊の課題であると考えます。鳥取県伯耆町では、紙おむつを固形燃料に変える事業に取り組み、年間120トンの減量化に成功。福岡県大木町は2011年、紙おむつの分別回収を開始し、パルプを取り出し建築資材の原料にしています。しかしながら、本市が其れに取り組む際には資金面や業務面における課題もあり、いわば相反する課題にどう対応するのが最善なのか、今から検討を進めていくとしています。

### 4. 城山公園のサル等の飼育環境について!!

現在、インターネット上に館山市城山公園でのサル等の飼育環境について、動物虐待を指摘する内容のものがUPされております。認定NPO法人アニマルライツセンターが発信しているものですが、サルのランちゃん、その娘のジョウちゃん、鳥ではキバタンの、それぞれ飼育環境の狭さ等を指摘していました。市としては、どのような対応をしているのかを確認しました。

#### 質問の背景・所感

今回の問題の一つの観点は、行政が飼育している環境に対してのご指摘だと思います。あらゆる面において民間等に模範を示す立場にある行政が、動物を飼育するのに相応しい環境なのかに対する社会的指摘・評価であり、自ずと厳しい目が向けられるのも当然であろうと考えます。観光立市を表明している本市では、その点も気を付けていかなければならないと感じます。ただ、これまでもサルの引き取り手を探してはいるものの、集団生活する習性から他所のグループに馴染むことも困難であること等により、引受先が見つからないでいることも理解します。今後も継続して、広く要請していくとありました。

### 統一地方選挙後半戦を振り返って

全国での後半戦平均投票率は市議選45.57%、東京区議選42.63%、町村議選59.70%で過去最低、更に町村議選の無投票の当選比率は23.3%で、過去最高を記録しました。館山市議選においては、23名もの立候補者にもかかわらず55.91%の低投票率であったことは、市議会議員の一人として深く反省するものです。今後、更なる市政に関心をお寄せいただくための議会活動の重要性を深く認識しています。そのためにも、新たな議員構成となり、改めて議員各位に議会改革の必要性を訴え、実質的に推進できる仕組み作りを構築していきたいと考えております。

※今回の選挙では、ご支援を賜りましたお一人々に御礼を申し述べるところではございますが、行き届かない点につきましては、略儀ながら本報告にて御礼に代えさせていただきますたく存じます。